

発行：2014年4月20日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

一平成25年度ニュースダイジェスト一

・4/12～5/26 於：「写創蔵」

～20th Shanti-Yamaguchi 活動報告展～

自然と共に生きる自由の民「モンの人々」と 共にあゆんだ20年の記録



20年の記録 展示

・4/23 KRY ラジオ生放送

8:44～「そこが聞きたい」インタビュー（竹重アナウンサー・佐伯事務局長）

- ・ シャンティ山口創設 20 周年を節目に、永年の支援者のみなさんや会員さんに感謝状と記念品（手づくり刺繍）を贈呈しました。



モン族の伝統文化を伝えるタペストリー



伝統の刺繍パターン

- ・ 5/25 於：山口県旧議会議事堂「夢交流ホール」

「第 179 回「河川文化を語る会」出講 佐伯事務局長

演題：エコトイレの神様糞闘記ー自然循環式 eco トイレと途上国の水環境ー

- ・ 5/26 於：「写創蔵」平成 25 年度通常総会

今年度シャンティ山口設立 20 周年を迎えるにあたり、これに伴う各種行事等の実施について会員の皆様からの案件や提言を募集し、準備と実施を行うこととしました。

また、平成 24 年 4 月からの NPO 法改正による諸手続き・定款変更・役員変更など総会の議決がなされ、変更登記を含め、これらの諸事務を規定の期日まで処理することを確認しました。

- ・ 7/25 於：山口県立大学国際文化部

「NGO 論受業」出講 事務局長

- ・ 7/30 於：山口県立大学国際文化部

「グローバル教育地域実習」事前学習ワークショップ 出講 事務局長

- ・ 8/19～8/31 於：北タイパヤオ県チェンカム郡・ポン郡

「グローバル教育地域実習」フィールドワーク現地学習案内



事前学習ワークショップ



PHAYAO タイヤイ族寺院住職と TANBUN

・10/19～10/20 於：山口きらら博記念公園
「山口いきいきエコフェア」出展



「タイ北部農村開発と環境保全」（遺伝子組み換えトウモロコシ栽培で荒廃した農地を森林に）



子ども達に説明中の岡村英一さん



eco トイレ模型



メタンガス収集装置



生物浄化システム



畑処理システム



畑部分内部構造

・11/17 於：ほしらんどくだまつ

「しゅうなん元気もの交流フェスタ」in 下松

“日頃の活動を基に、多くの団体の方々や市民の皆様との交流を通じ仲間を増やしませんか”



もちまき大会



活動報告



IMAYA ベトナム研修生3名 eco トイレ学習

- ・ 11/30 ～11/31 於：独立行政法人 環境再生保全機構
「地球環境基金創設 20 周年記念」シンポジウム&「助成団体活動報告会」
「持続可能な社会の構築に向けて」～地球環境基金新たなスタート～
・ シンポジウム基調講演「宇宙航空研究開発機構 川口淳一郎氏
『「はやぶさ」、やれる理由がプロジェクトを遂げさせた』
・ パネルディスカッション『持続可能な未来のために～NPOと企業、行政等との協働・連携
について～』
・ 助成団体活動報告会 発表団体助成活動 2 年目の団体「国際環境協力分科会」事務局長参加
- ・ 1/12 シャンティ山口 理事 岡村英一さんご逝去
・ 1/21 シャンティ寮で現地のみなさんとお別れ会
“岡村さんありがとう”（発足からこれまでパヤオのみなさんと共に活動されました。）
- ・ 2/4 (株) 日立システムズから『職員社会貢献基金』配分
・ (株) 日立システムズお勤めのシャンティ山口正会員さんからの申請による助成金配分をいただきました。
- ・ 3/7 NPO 法人 日本水フォーラム主催
～世界のすべての人にトイレのある暮らしを～世界を変えるトイレ賞
『GOOD プロジェクト「優れた取り組み賞」』受賞

・ 受賞理由（評価）

「自然循環式トイレの設置と地域衛生環境の改善」

糞尿を肥料や燃料として再利用するエコトイレは、様々なタイプがありますが、途上国で広められているものの多くは、糞尿を分離した上で、一定の期間貯蔵・発酵させ、肥料化するというドライタイプのトイレが主流です。

このタイプのトイレは、製造コストが比較的安価だというメリットがありますが、システム上、堆肥化した人糞を改修する作業が発生するため、現地の維持管理体制がしっかりしていないと、機能しなくなってしまうというリスクをはらんでいます。

しかしながら、シャンティ山口がタイ山岳地帯の少数民族の村で導入を進めているモデルは、複数の発酵層を組み合わせたウエットタイプのトイレで、処理は人手を介さず畑に直接送り込む形をとっているため、「汲み取り」作業が発生しません。また、現地の気候風土やライフスタイルとシステムがマッチしているためか、実質的にメンテナンスフリーに近い状態が作り出されています。

もちろん、こうしたモデルの導入にはそれなりのコストがかかることに加え、十分な設置場所が確保できるなどのいくつかの条件をクリアする必要がありますが、メンテナンスフリーということはそれらを補ってあまりあるメリットと言えます。

さらに、シャンティ山口は、現地で 20 年以上に渡って活動を続けており、深い信頼関係を構築してきたこともポイントとなりました。

（審査委員長）

- ・ 活動支援金 20 万円いただきました。

以上

～環境支援募金にご協力をお願いします。～

20140420saeki